

4 年	単元名	写真と文で活動を伝えよう！～リーフレット/ PPT/VTR で PR～	4 時間
単元の目標	○自分たちの補習校や現地校・地域での活動のよさに気づき、写真と文で他地域の友達に伝えようとする。 ○書こうとすることの中心を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を書くことができる。 ○句読点を適切に打ち、段落の始めなど必要な箇所は行を改めることができる。		
日本語の目標	① 「～には○○と□□があります。」の文型を使って、伝えたい内容のよい点を示すことができる。 ② 「～。また、～。」「このように～」の文型を使って、段落を分けて書くことができる。		
学習課題	説明のしかたを工夫して、分かりやすく伝えよう		
主な学習活動	①説明する相手と内容を決める。 ②文章の組み立てを考える。 ③説明する文章を書く。 ④リーフレット/ PPT/VTR を作成する。 ⑤クラスで発表をする/他地域の友達に伝える。		

学習活動計画

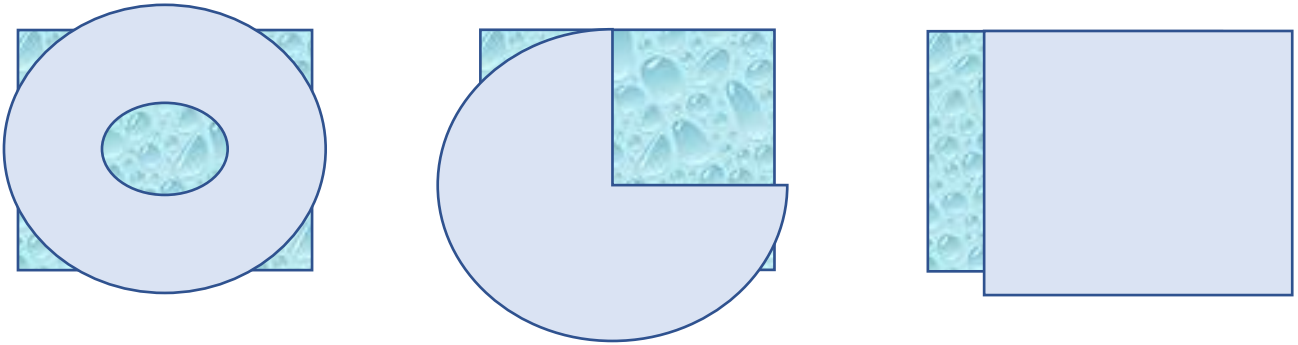
時限	内容	活動	ポイント
1	学習課題をつかむ	めあて 伝えたいことを話し合おう	・前単元「アップとルーズで伝える」に関連させ、現地校や現地の活動等の写真を活用する。 ・ゲームでは、それぞれの活動のよさについても質問し合うようにする。
2	学習計画を立てる	- ブレインストーミングとして、ペア/グループで、伝えたい活動の写真を使って「これはなんでしょうゲーム」をする。ヒントを出したり質問をしたりしながら、活動の詳細を確認したり伝えたい内容を膨めたりする。 - 伝えたい相手と内容・伝え方を決める。 伝えたい相手：他のクラスの友達、他の補習校の友達等 内容：現地校の活動、補習校の行事、クラブ活動等のよさ 伝え方：リーフレット、PPT、VTR 等 - 文章の組み立てを考える。 よいところ①②のキーワードを考える。 - 初め・中・終わりのカードにキーワードや文を書く。 (初めのカードは 1 枚、中のカードは 2 枚、終わりのカードは 1 枚)	・ワークシートに学習計画を書き込むようにする。 ・日本語に課題のある子どもは、付箋にキーワードを書いて写真に貼ってよいことを伝える。
	伝えたい内容をカードに書く		・PPT や VTR を選択した子どもは PC やタブレット等を使用してよいことを伝える。
	家庭学習課題	- 家庭学習課題の内容を確認 - 必要な情報を取材する。	・学習計画のワークシートに、保護者からの励ましメッセージ/サインの欄も設ける。
3	説明する文章を書く	めあて 説明のしかたや文章を工夫しよう	・日本語に課題がある子どもには、「～には○○と□□があります。」「～。また、～。」「このように～」などのモデル文を示したカードやワークシートを提示する。
	家庭学習課題	- 取材したことから必要なことを選んだり、整理したりして写真と文章を対応させ、知らせたいことを説明する文を書く。 - 前時に作成したカードやモデル文を参考にしたり、モデル文アレンジしたりして、伝えたい活動にあう文を考える。 - 段落ごとに文章を書く。 - 写真と文章を組み合わせるリーフレット/ PPT/VTR に仕上げる。	・PPT や VTR を作成する子どもには、文章に加え、音声も挿入してよいことを伝える。
	家庭学習課題	- 家庭学習課題の内容を確認 「これから～の発表をします。」「これで～の発表を終わります。」の挨拶も含めて、発表の練習する。	・PPT を作成した子どもには、よさを説明する言葉を補足してよいことを伝える。
4	リーフレット、PPT、VTR を発表する。学習を振り返る	めあて リーフレット/PPT/VTR で伝えよう	・評価の観点を示したオーディエンスカードを用意しておく。
		- 出来上がったリーフレット/ PPT/VTR を発表し合う。 - 友達のリーフレット/ PPT/VTR の良いところを話し合う。 - 説明のしかたの工夫や分かりやすく伝える文章について整理する。	・発表の形態ごとに、コーナーを特設してもよい。 ・PPT は印刷したものをリーフレットとして発表してもよい。

<バリエーション>

- 事前準備 : 事前に学級通信等で本単元のねらいや学習計画を伝え、写真や取材等の準備ができるようにする。
- 「つかむ」・「書く」段階 : 社会科や総合的な学習の時間の学習とも関連させて内容を選択する。
- 「発表する」段階 : 他のクラスや他の補習授業校の友達と合同で発表会を行う。ICT を活用する。
- その他 : 本単元で学んだ「初め・中・終わり」の説明の仕方を、他の単元や教科学習でも活用する。

★「これはなんだろうゲーム」について

- ・子どもたちが持参した写真のある部分だけを見せて、何の活動をしている写真か推測して当てるゲーム。
- ・単純に紙を重ねて隠してもよいし、穴あけ等の形で隠してもよいので、見えない部分を作って、何をしている写真かを当てます。例えば、こんな感じで↓



- ※1 少しずつ動かして見える部分を増やしていくと、写真への注目度が高まるので、効果的です。
- ※2 何の活動をしている写真かを推測するためのヒントを与えたり、質問したりしても良いことにします。そうすることで、日本語でのやりとりのバリエーションが増えたり、新たな発想を誘発したりすることができます。
- ※3 このようなやりとりを通して、持参した写真に写されている補習校や現地校・地域の活動などの良さについて確認したり詳細を思い出したりして、伝えたい内容を膨らめることをねらっています。

★PPT や VTR で表現することについて

- ・PPT はスライド4枚程度でできるものを想定しています。子供の力量によってはスライドを増やしても構いません。ただし、リーフレットの構成に習って、「初め・中（2段落）・終わり」の構成で、わかりやすく作成するようにします。
- ・VTR の場合は、カードや写真の提示に合わせて説明する文を読み上げていくというように、簡易な作り方を基本とします。

※子供の日本語力や IT スキルに合わせた表現方法を子供が自分で選択できるとよいでしょう。

※日本語で文章を書くことに抵抗がある子供や、考えるスピードに手書きの速度が追いついていけないような子供は、PC やタブレットを活用することで、そのストレスを軽減することができます。学習意欲を高めたり継続させたりすることに効果的です。（最近、特別支援教育でもこのような IT の活用が進められようとしています。）

※日本語力向上のみならず、バイカルチュラルであることの利点を最大限活かせるようにすることをねらっています。現地校での学習により、IT スキルや表現スキルのレベルが高い子供達もいます。そのような力を活かすことで、より魅力的な発信ができ、それが自己肯定感を高めることにもつながると思っています。

★ 他地域の友達への発信について

- ・他地域の友達への発信方法も様々です。例えば、リーフレットや PPT・VTR のコピーを送り感想を伝え合う。ICT を活用して他の補習授業と一緒に発表会をする。AG5 ウェブサイトや Facebook に作品を投稿して感想をフィードバックしてもらう。などが考えられます。

※補習授業校のネットワーク構築が進められようとしている今、他の補習授業校の友達に伝えるという活動を設定することがそれほど難しいことではなくなってきました。実際、小4 学年研究会では、本単元の公開授業を協力校の先生方が参観されます。この機会も有効に活かしたいと考えています。

※自分たちが知っている地域の中での発表も良いのですが、補習授業校の多様性をうまく使ったり自分の地域と比較したりすることによって、子供たちの学びがさらに広がり深まっていくことが期待できます。このような学び方は、グローバル人材育成にはとても効果的でしょう。